

クローズアップ インタビュー



瑞宝単光章受章者 **中川 寛氏** (66歳)

主な略歴

昭和32年4月	塗装工として勤務
平成5年11月	愛知県知事表彰 (優秀技能者)
平成6年5月～	碧海看板塗装工業組合理事長
平成15年4月	
平成8年5月～現在	愛知県塗装工業協同組合理事

平成18年秋叙勲の発表があり、高浜市内から中川寛さん(呉竹町七丁目在住)が長年にわたり塗装業に従事し業界の発展と愛知県塗装技能検定委員として後進の指導育成に貢献されたことを評価され、瑞宝単光章を受章されました。

受章の感想

私が、こうして受章できるとは思っていませんでした。23年前には、父も同じ章を授かっており、大変光栄です。叙勲を手にしたとき、あらためてこの章の重みを実感しました。

仕事について

◆指導

昭和32年に県総合高等職業訓練校を卒業後、技術を認められ補助講師を勤めました。

塗装に携わり来年で50年になりますが、その経験を少しでも若手に伝えられればとハケの持ち方など初歩から、県シルバー人材センター連合会で講師をさせていただいています。

昭和56年から県技能検定委員に任命されていますが、10人いる検定委員の中で、今では私が一番の古株となっています。

◆昔と今

昔は、建築の塗装といえばハケを使うものでしたが、今はローラーでむらなくきれいに塗れるようになりました。しかし細かい作業は今でも職人の手が必要です。

◆信頼

最近では近隣市だけでなく遠方からも各家庭に塗装の営業に見えているようですが、私のところでは、先代から受け継がれている「信頼」で経営してきました。従業員は7人いますが、全員が1級の資格を取得しており、お客様から受けた仕事をそつなくこなし、これまで培ってきた信頼を損なうことなく息子の代へ引き継げばと思っています。

若い人へ

今では時代が変わったと言われるかもしれませんが、私は「義理・人情」が今の人たちには少し欠けていると思います。人とのつながりや、先輩や恩師を敬う心がなくなってきたのではないのでしょうか。

これからの思い

勲章を頂けたことは、私に技術を教えてくれた恩師や父親、経営に協力してくれた家族や仲間など多くの人々のおかげだと感謝し、これまでの経験を生かし、社会に貢献したいと思います。